

地域とのコミュニケーションを促進する自治会館

コロナ禍を経験して感じたことは、インターネットを介したオンライン形式の交流の必要性、そして直接会って対面することのでられる、コミュニケーションの重要性でした。

会員のコミュニケーションを重視した自治会館の建設計画において、年齢や性別を問わず、誰でも気軽に立ち寄ることができる場所があるといいなと思いました。

昔ながらの日本家屋には、庭先に「縁側」があり、そこでお茶の飲んだり、ご近所の方と世間話をしたり、農作業の支度をしたりと、生活になくてはならない場所でした。また「茶の間」も、家族が集まって食事をする「だんらんの部屋」として、今でも大切にされている場所です。

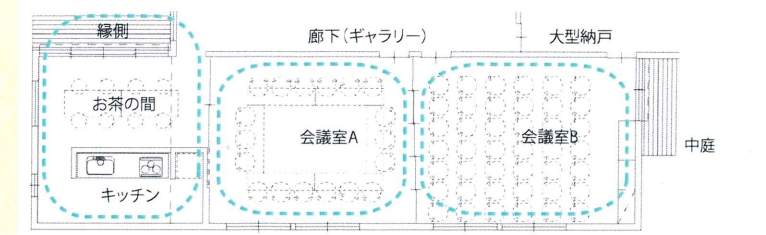
地域とのコミュニケーションを促進する場所としてお茶の間と縁側のある、家庭的で温かい千草台自治会館を提案します。

・会議室の活用方法のご提案

1階には分割して使用できる大会議室(AとBに分割可能)。2階には小会議室を2室設けました。

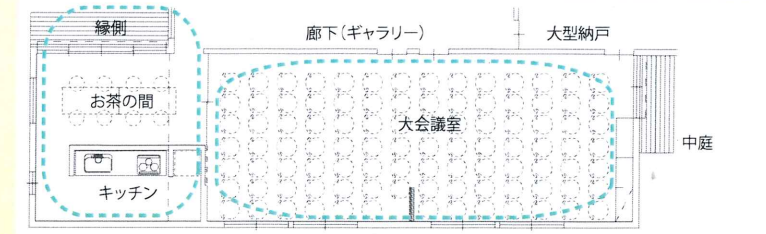
大会議室に隣には「お茶の間」と対面式のキッチンを設置しました。大会議室との一体利用も可能です。

会議の合間の休憩や、気軽にふらっと立ち寄れる縁側のような場所として、又はマルシェやフリーマーケット・食のイベントなどの新しい交流の場としても活用できます。



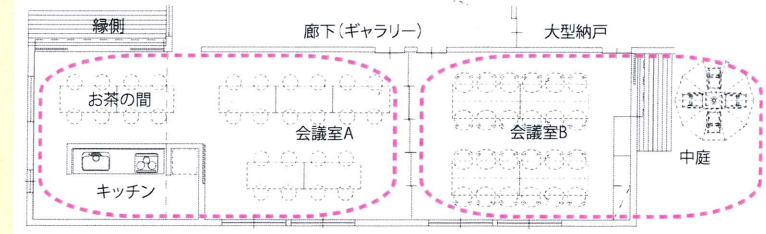
ケース①
会議室A・会議室B分割して使用

役員会、老人会、その他会合や、麻雀、詩吟、カラオケなどの交流の場として



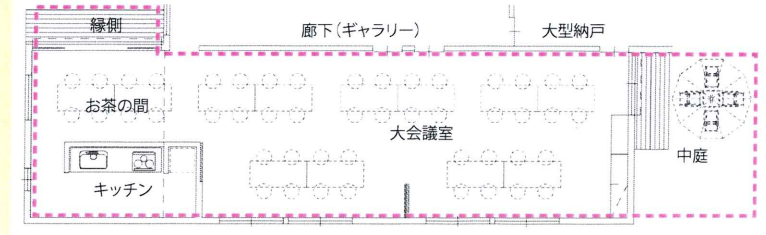
ケース②
一体の大会議室として使用

総会、運営委員会など規模の大きな会合の場として
(椅子100席・テーブル40席程度)



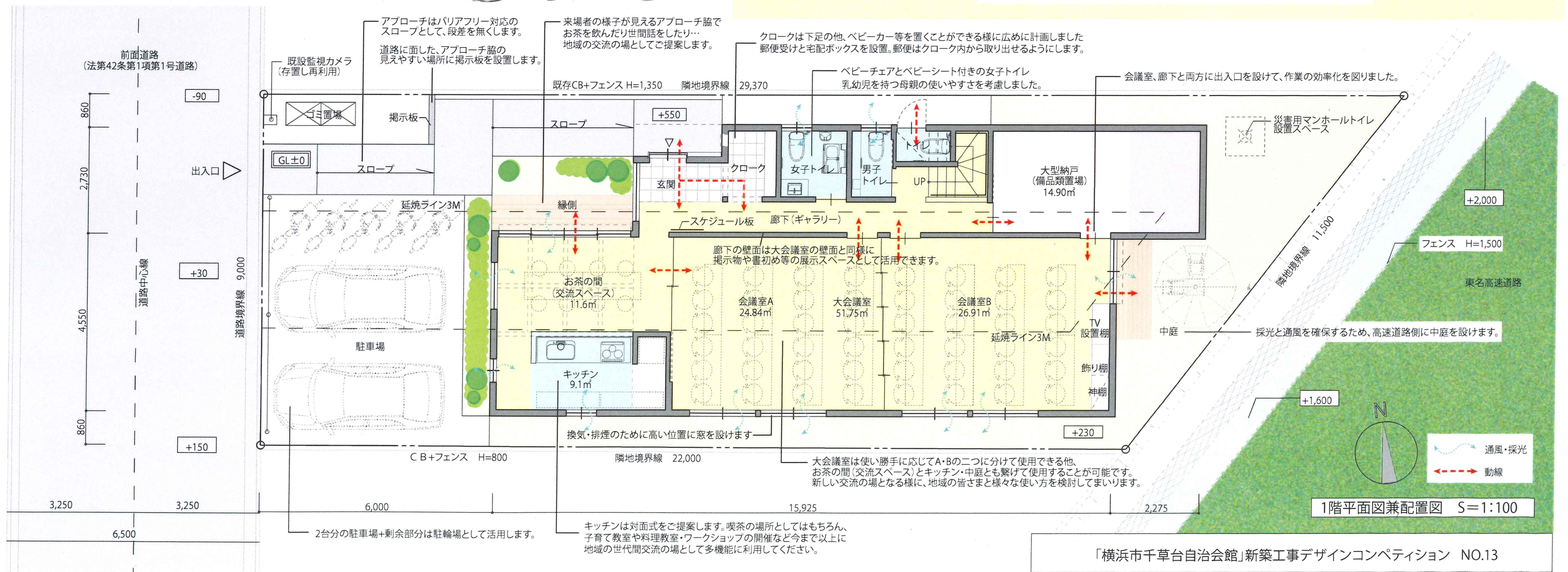
ケース③
お茶の間+キッチン+会議室Aを一体で使用

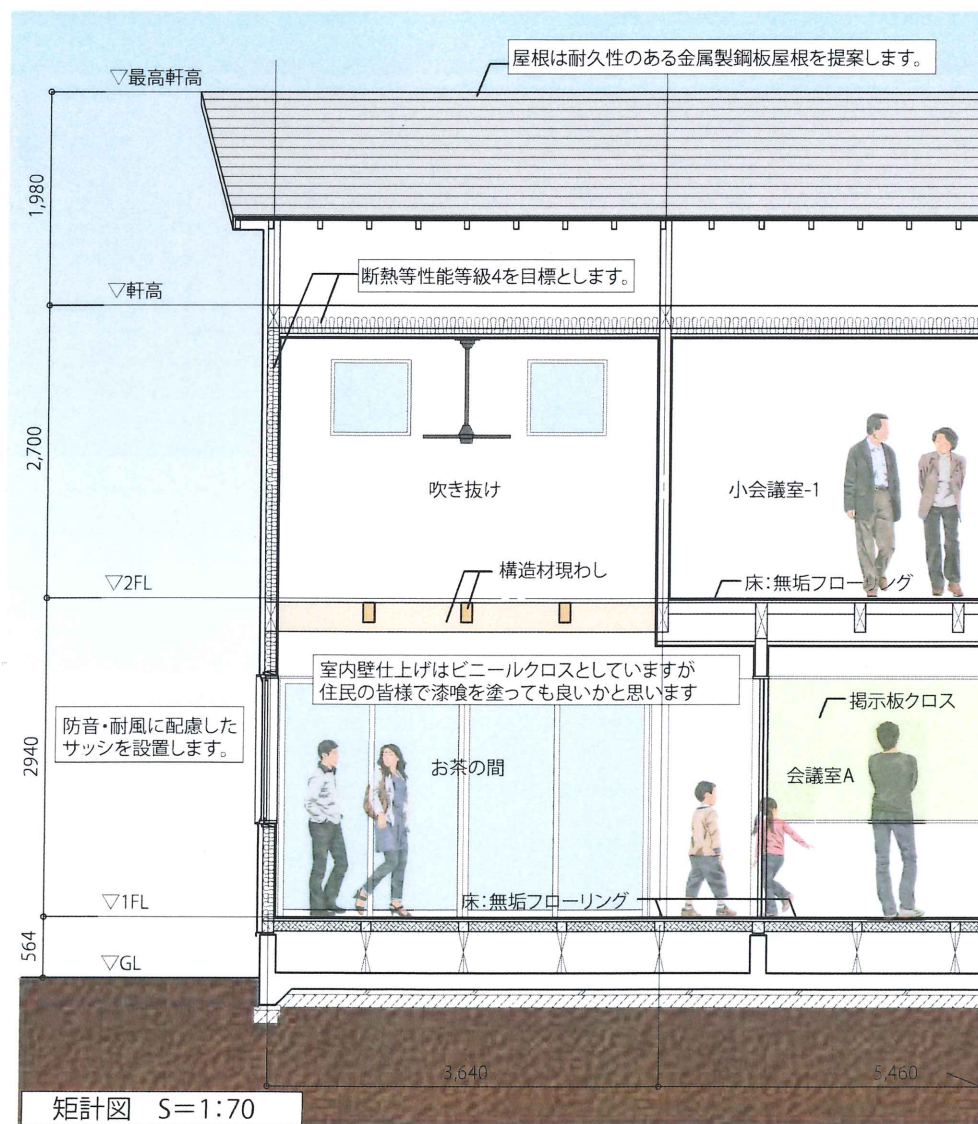
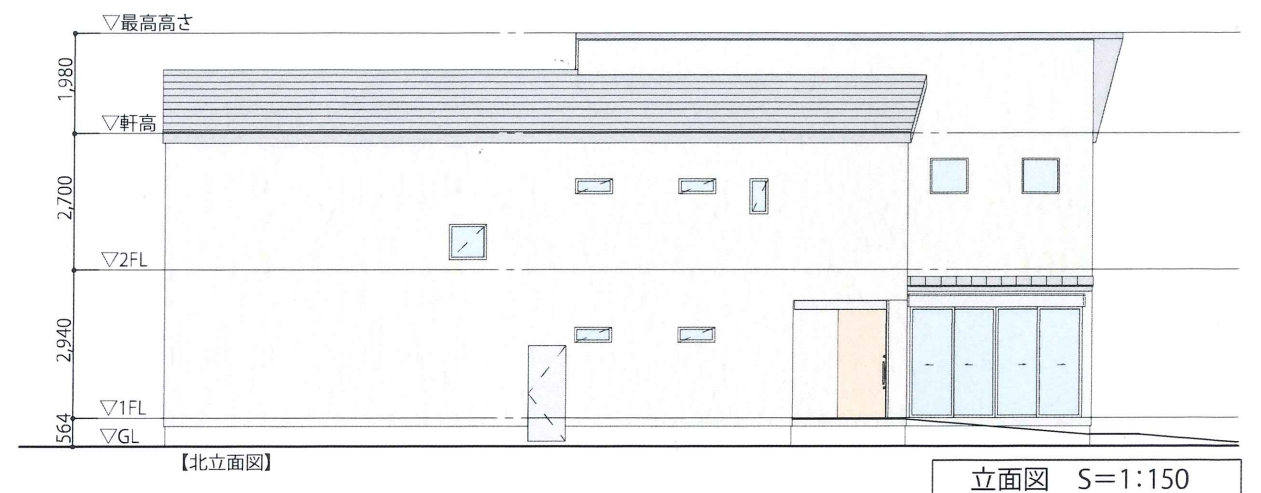
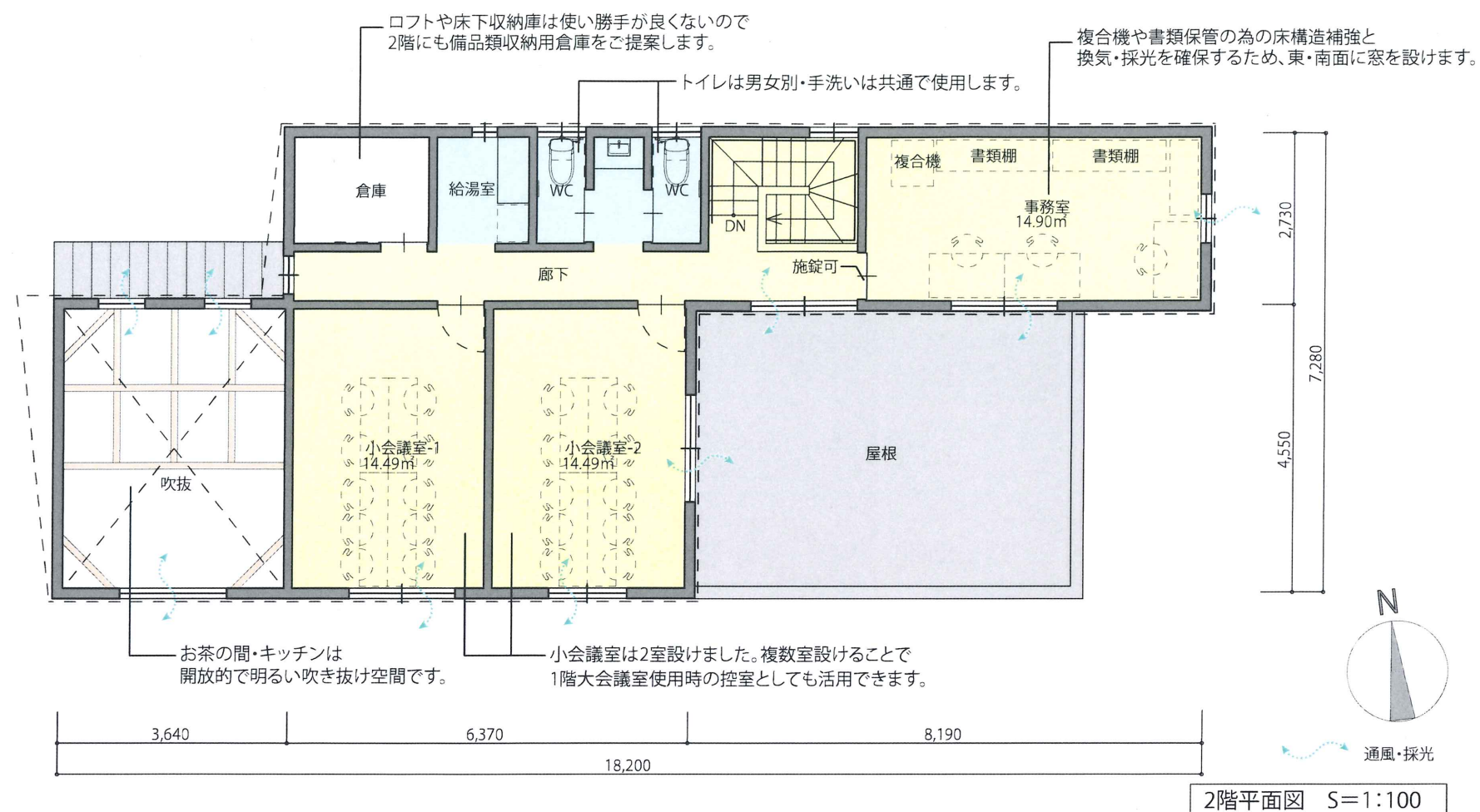
子供会や子育て教室・赤ちゃん教室等の育児に関するイベントや、料理教室、ヨガ教室、フラワーアレンジ等の文化交流の場として



ケース④
お茶の間+キッチン+会議室A・B中庭までを一体で使用

総会やお祭りの打ち上げ、マルシェやバザーなど、自治会全体で取り組む新たなイベントの場として





【外観イメージ】
温かみのある左官仕上げをイメージ。メンテナンスを考慮し、防汚性・耐久性が比較的高い素材をご提案します。縁側の周囲には季節の草花を楽しめる小規模な植栽を設けてはいかがでしょうか。

【建築概要】
建設地: 横浜市青葉区千草台22-13
用途地域: 第一種住居地域 (60%/200%)
第4種高度地区 (北側斜線: 7.5m+0.6L)
日影規制 (高さ10m以上) 4.0m 4h/2.5h
緑化地区、宅地等造成工事規制区域、準防火地域
周辺地区または自動車ふくそう地区

敷地面積: 約233.32㎡ ※提供資料による
建築面積: 110.13㎡

1階床面積: 108.27㎡ 2階床面積: 68.73㎡
延床面積: 177.00㎡ (法定延床面積)
建ぺい率: 47.20%
容積率: 75.86%

【主な仕上】
構造・規模: 木造 (在来工法) 2階建
※耐震等級3相当を目標とする
外壁: モルタル下地ジョリパット (吹付左官) 仕上
屋根: ガルバリウム鋼板 段葺
室内床: 無垢フローリング
壁・天井: 石膏ボード下地ビニールクロス貼

【総事業費】
既存建物解体費 170万円
本体工事 3,400万円
設備工事 400万円
外構工事 150万円
測量・地盤調査費 35万円
設計監理費 390万円
消費税 454万円
合計 4,999.5万円
※地盤改良費・家具什器等備品・登記費用は別途
※建設資材高騰の影響により、設計変更の可能性
があります。